

参 考 資 料

1. 策定の経緯

年 月 日	会 議 名	内 容
平成 28 年 6 月 27 日 ～平成 28 年 7 月 15 日	佐野市バリアフリーに関するアンケート調査	地域住民を対象 発送数 2,000 通 回収率 56.4%
平成 28 年 7 月 15 日	佐野市バリアフリー基本構想策定に伴うヒアリング	市内障がい者団体 6 名参加
平成 28 年 8 月 9 日	交通事業者ヒアリング	バス事業者、佐野地区タクシー協議会
平成 28 年 8 月 19 日	第 1 回佐野市バリアフリー基本構想検討協議会	・佐野市バリアフリー基本構想策定について ・対象地区の現況 ・バリアフリー化の現状と推進上の課題
平成 28 年 10 月 15 日	まち歩き点検及びワークショップ	市内障がい者団体 4 名 高齢者団体 3 名 市内の小学生 7 名参加
平成 28 年 12 月 20 日	第 2 回佐野市バリアフリー基本構想検討協議会	・佐野市バリアフリー基本構想（素案）の検討
平成 29 年 2 月 1 日 ～平成 29 年 3 月 2 日	パブリック・コメントの実施	佐野市ホームページに掲載 佐野市役所、田沼行政センター、葛生行政センターで閲覧
平成 29 年 3 月 9 日	第 3 回佐野市バリアフリー基本構想検討協議会	・佐野市バリアフリー基本構想（案）の検討

2. 佐野市バリアフリー基本構想検討協議会設置要綱

平成28年 8 月 5 日

告示第190号

(設置)

第 1 条 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成18年法律第91号。以下「法」という。）第25条第 1 項の規定により佐野市バリアフリー基本構想（以下「基本構想」という。）を策定するため、法第26条第 1 項の規定に基づき、佐野市バリアフリー基本構想検討協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 協議会は、基本構想の作成に関する協議及び基本構想の実施に係る連絡調整を行うものとする。

(組織)

第 3 条 協議会は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、法第26条第 2 項に掲げる者のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。

(任期)

第 4 条 委員の任期は、1 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第 5 条 協議会に会長及び副会長 1 人を置き、委員の互選によりこれらを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めて、その意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第 7 条 協議会の庶務は、都市建設部都市計画課において処理する。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、告示の日から施行する。

(委員の任期の特例)

2 この告示の施行の日（以下「施行日」という。）以後最初に委嘱される委員の任期は、第 4 条第 1 項の規定にかかわらず、平成29年 3 月31日までとする。

(会議の招集の特例)

- 3 施行日以後又は委員の任期満了後最初に開かれる協議会の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

3. 佐野市バリアフリー基本構想検討協議会委員名簿

平成 28 年 8 月 19 日現在
(敬称略)

No.	委員の種別	職 名 等	氏 名	備 考
1	学識経験者	特定非営利法人まちづくり支援 センター代表理事	為 国 孝 敏	会長
2	学識経験者	宇都宮大学地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科助教	長 田 哲 平	
3	公共交通事業者	東日本旅客鉄道株式会社高崎支社 総務部企画室長	馬 場 敏 宏	
4	公共交通事業者	東武鉄道株式会社施設部 建築土木課長	湊 一 成	
5	公共交通事業者	関東自動車株式会社 佐野営業所長	神 長 洋	
6	公共交通事業者	佐野地区タクシー協議会	駒 場 賢 一	
7	施設管理者	国土交通省宇都宮国道事務所 建設専門官	友 田 守	
8	施設管理者	栃木県安足土木事務所 次長兼企画調査部長	堀 越 義 典	
9	施設管理者	佐野市総合政策部長	加 藤 栄 作	
10	施設管理者	佐野市都市建設部長	藤 本 真 澄	副会長
11	警察関係者	栃木県佐野警察署交通課長	椎 名 泰 裕	
12	高齢者団体代表	佐野シニアクラブ連合会会長	野 城 平四郎	
13	障害者団体代表	佐野市身体障がい者福社会評議員	神 祐 次	
14	障害者団体代表	佐野市手をつなぐ育成会庶務	亀 山 章 子	
15	市民	会社役員	瀧 山 孝 雄	
16	市職員	佐野市市民生活部長	船渡川 明 彦	
17	市職員	佐野市こども福祉部長	藤 井 謙 一	
18	市職員	佐野市健康医療部長	高 橋 主 也	

4. 「佐野市バリアフリーに関するアンケート調査」調査票

調 査 票

バリアフリーとは・・・

バリアフリーとは、障がい者、高齢者、妊婦や子ども連れの人などが、社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去する（フリー）ことです。近年では、物理的な障壁のみならず、社会的、制度的、心理的なすべての障壁に対処するという考え方に発展してきました。

本アンケート調査は、佐野市が策定を進めている「佐野市バリアフリー基本構想」に、地域住民の皆様のご意見を反映させるために行うもので、他の目的に使用することはありません。

回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。

あなたご自身のことについておたずねします。

問1. あなたの性別について、あてはまるものを○で囲んでください。

1. 男 2. 女

問2. あなたの年齢について、あてはまるものを○で囲んでください。

1. 50～59 歳 2. 60～69 歳 3. 70～79 歳 4. 80 歳以上

問3. あなたは、外出する際に杖や手押し車、車いすなどの用具を必要としますか。
あてはまるものを○で囲んでください。

1. 必要とする
2. 時々必要とする
3. 必要としない

あなたが普段外出する場所についておたずねします。

以下の設問は、右ページの図を参考にお答えください。

問4. あなたが普段の生活でよく利用する中心部の施設は何ですか。あてはまるものを○で囲んでください。(複数回答可)

1. 佐野駅 2. 佐野市役所 3. 図書館 4. 中央公民館
5. 銀行・郵便局 6. 医院・診療所 7. 公園 8. 小売店
9. コンビニ 10. 飲食店 11. その他 ()

問5. よく利用する施設について、利用するうえでの問題点は何ですか。あてはまるものを○で囲んでください。(複数回答可)

1. 段差があり、移動しにくい 2. エレベーターやエスカレーターがない・使いにくい
3. 階段が使いにくい 4. トイレが使いにくい 5. 案内表示がわかりにくい
6. 点字ブロックがない・少ない 7. 駐車場が少ない
8. 障害者や高齢者・妊婦用の駐車スペースがない・少ない
9. ベンチ等の休憩施設がない・少ない 10. 特にない
11. その他
()

あなたが普段外出する際の、移動環境についておたずねします。

問6. 中心部に出かける時の主な交通手段は何ですか。あてはまるものを○で囲んでください。

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車 5. バス
6. タクシー 7. その他 ()

問7. 中心部の道路を徒歩や自転車で移動するときの問題点は何ですか。あてはまるものを○で囲んでください。(複数回答可)

1. 歩道がない・狭い 2. 段差やデコボコがある 3. 路面が滑りやすい
4. 電柱などの障害物がある 5. 点字ブロックがない・少ない・識別しにくい
6. 街灯がない・少ない 7. 横断歩道の青信号の時間が短い
8. 自転車や車がすぐそばを通るので危険
9. ベンチや木陰等の休憩できるスペースが少ない 10. 特にない
11. その他 ()

問 8. バスを利用するうえでの問題点は何ですか。あてはまるものを○で囲んでください。(複数回答可)

1. バス停に屋根・ベンチがない 2. バスの行先や時刻表がわかりにくい
3. バスの乗降口との間に段差があり、乗り降りしにくい
4. 車いすやベビーカー用のスペースがない 5. 優先席がない・少ない
6. 車内の案内がわかりにくい 7. 利用しないのでわからない
8. 特にない 9. その他()

今後のバリアフリーの進め方についておたずねします。

問 9. あなたは、「バリアフリー」という言葉をご存知でしたか。あてはまるものを○で囲んでください。

1. 知っていた
2. 聞いたことはあったが、意味はよく知らなかった
3. 知らなかった

問 10. 今後、佐野市が中心部のバリアフリー化を進めるうえで、重要なことは何だと思われますか。あてはまるものを○で囲んでください。(複数回答可)

1. 道路や建物の段差の解消などの整備
2. バスの車両やバス路線などの使いやすい整備
3. 障がいのある方と一緒にイベント等の開催
4. 障がいのある方を理解するための冊子類の配布
5. 学校教育のなかでのバリアフリー教育の充実
6. その他 ()

○その他、バリアフリーに関してご意見があればお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

5.「佐野市バリアフリーに関するアンケート調査」自由記入意見の概要

（道路全般について）

- ・建物に比べて、道路のバリアフリーは整備不十分です。(60 代女)
- ・健康のために歩きたいのですが、佐野市の歩道は、デコボコしていたり、傾斜していたりして歩いて歩きづらい。街の中を歩く姿が増えるような整備を期待します。(50 代女)
- ・まず幹線を含む生活道路を安心して歩け、移動できる整備をお願いしたい。(60 代男)
- ・道路が狭く、命の危険を感じる。(70 代女)
- ・福祉施設内はバリアフリー化が進んでいるが、そこまでの道路が整備されていない。福祉との連携で整備を進めてほしい。(60 代女)
- ・大型商業施設はバリアフリー化が進んでいますが、残念ながら佐野市中心部は市役所の周りを除いて安心して歩ける場所ではありません。(50 代男)
- ・子供の登下校を考えて整備をすれば、障がい者の方にも安全な道路となるはず。(60 代男)
- ・佐野市の観光で他から来る方で、足元の悪さで転んだ方を見かけました。中心部は、高齢者が多いのに中心部の道路の悪さはひどいです。佐野市のイメージダウンです。(60 代女)
- ・バリアフリーも良いけれど、中心部の道路のひどさは他の市町村にはない。何とかしたらどうでしょうか。(80 代男)

（個別の道路について）

- ・未来館の所から植野の方に行く道路が危なくて自転車で行けません。デコボコ道で狭くて、右に転ぶと死亡事故になりそうな時が何度もありました。(70 代男)
- ・旧 50 号から南へいく道と、佐野小東側と高校の間の道が狭く特に踏切の所が危ない気がします。(60 代男)
- ・旧 50 号の歩きやすい歩道の整備をお願いします。(80 代女)
- ・駅南に比べて駅北側は、道幅が狭いし歩道は整備されていないので、生活しやすいバリアフリーを進めて下さい。(60 代女)
- ・産業道路は、幹線道路にもかかわらず歩道が狭く、自転車や車イスが通れない所があります。段差、デコボコ、電柱があり、ベンチや木陰などありません。早急な整備を行うべきです。(50 代女)

（道路の構造について）

- ・介護で車イスを利用していましたが、信号を渡ってから歩道に上がりづらく、また、点字ブロックの所が押しづらかった。(50 代女)
- ・交差点付近で歩道と車道の段差があるところでは、段差をなくした交差点にしてもらいたい。(60 代男)
- ・点字ブロックに足を引っかけてしまい、杖やシルバーカーの使用が難しい時があります。横断歩道を青信号のうちに渡り切れないことが多くなりました。(80 代女)
- ・歩道に自転車や植木鉢・看板などが置いてあると狭くなり危険だと思います。電動車イス

のようなものでスイスイ通行できるような場所になるのが、理想です。(50 代女)

- ・ 車道と歩道の段差をみると、自動車優先の道路になっている。(70 代女)
- ・ 障がい者になって初めてわかる事が多い。道路の中央より両サイドが低くなっているのが、一番怖かった。(60 代女)
- ・ なるべく歩くようにしているが、段差で捻挫した事が数回ある。他市へよく出かけるが歩道の幅が広く歩きよい。段差も無かった。(70 代女)
- ・ 駅前や旧 50 号北側の歩道には段差があり足が上がらない、また、歩道は道路側の方が低いスロープ状になっているため自然と低い方に寄って行ってしまう。(80 代女)
- ・ 主人が身体障がい者ですが、段差や車がすぐそばを通るため危険で、散歩も出来ません。(60 代女)

(歩道の舗装について)

- ・ 歩道の石畳風舗装は、見た目は良いがデコボコがあり走りにくい。(60 代男)
- ・ 歩道はタイル状のものより平らなものが歩き易いしカート等の使用に適していると思います。(70 代女)
- ・ 歩道の石畳は、お洒落ですが歩くのも自転車でも通りづらい。平らが一番。(70 代女)
- ・ 厄除け大師前の道路のブロックは歩きにくい。(70 代男)
- ・ 車イスの乗る側・押す側双方が大変なので、歩道は石畳にしない。(50 代女)

(休憩施設について)

- ・ 様々な所に、様々なベンチがあるとよい。(70 代女)
- ・ 高齢者にとっては道の途中に一休みできる場所、椅子の設置が必要です。(50 代女)
- ・ 歩きやすい歩道の中に自然や休憩場所を作って欲しい。(60 代女)

(自転車の通行について)

- ・ 赤門通りの青い路側帯が良い。できればもっとつくってもらいたい。(80 代男)
- ・ 中心部には駐車場が少ないので、自転車で行きやすいように整備してもらいたい。(60 代女)
- ・ 自転車専用レーンが設置されているが、危険であり、何のために設置したのか疑問を感じる。(80 代女)
- ・ 道が狭く歩道もないので、自転車通学が危険である。(50 代女)
- ・ 自転車で車道の端を走るのは危険なので、つい歩道を走ってしまいますが、これは違反になりますか？(50 代女)

(街灯について)

- ・ 歩道を広くして、街灯や防犯カメラを設置してもらいたい。(70 代女)
- ・ 駅前通りは必要以上に明るくしているのに、少し離れると歩くのも心配な位暗くなってしまう。塾に通う生徒が一人で夜に通行する事も多いので、もう少し考えて頂きたいと

思います。(年代・性別未記入)

(電柱について)

- ・電柱が一番の障害です。(80 代女)
- ・近隣の市に比べて遅れている無電柱化を進めるべきです。(60 代男)
- ・道路が狭く電柱があり、自転車がすぐそばを通るので怖い。(80 代男)
- ・電柱が多く車がせまってくるので困る。(50 代女)
- ・旧 50 号線及び館林街道の無電柱化による歩道整備を集中的に実施して下さい。(80 代男)
- ・電柱があるため、お年寄りの方が大きく車道に出てこられ非常に危険な思いをした事がある。(50 代男)
- ・歩道に電柱があり、傘をさして歩道を歩けない。(50 代女)
- ・電線の地中化までは望まないが宅地へ移動する運動等を推進するしたらよい。(60 代男)

(バスについて)

- ・公共交通機関で買い物・通院ができるシステムづくりが必要だと思います。(50 代女)
- ・バスで通院しているが、歩道が狭いと車道に降りることになり、危険です。(80 代男)
- ・手押し車を必要としていますので、バスを利用する際一緒に車も乗せて頂けたら助かります。(80 代女)
- ・手押し車を使う母は一人でバスの車両に乗れないようです。一緒に行動すると分かる本当のバリアフリーの意味、ですね。(50 代女)
- ・車を運転しないので、さーのって号の増便と利用方法を改善してもらいたい。(60 代女)
- ・アウトレットに行くバスが佐野市駅でも乗れるようにしてもらいたい。(50 代女)
- ・佐野市駅は多くの人利用するのにバスが来ないので困る。(60 代女)
- ・目の不自由な方が、春日岡のバス停で縁石があり、降車が大変のようでした。(80 代女)

(タクシーについて)

- ・現在、タクシー券は通院しか使用できませんので、自転車で買い物に行って居りますが、荷物が多い時は大変危険です。(80 代女)
- ・タクシー券の使用をもっと色々の足に使用したい。例えば講演会や運動、レジャーにも利用できるようなお願いします。(80 代女)
- ・福祉タクシーの充実を図って欲しい。(80 代女)

(公共施設について)

- ・市役所駐車場に障がい者用駐車スペースが少ない。(80 代性別不明)
- ・庁舎内にエスカレーターがないのは理解できない。(80 代女)
- ・今年の 1 月に市役所の入口で段差につまずいたお年寄りを見かけた。見かけより実が大切だと思う。(50 代男)
- ・今度の市役所は玄関のガードマンの方が非常に優しいのでありがたい。障がい者用の駐車

場の位置がとても良い。(60 代女)

- ・文化会館にエレベーターがないのは不便だ。(80 代女)
- ・城山公園の坂がデコボコで歩きにくい。(70 代女)
- ・新しい施設と古い施設の整備の差が有り過ぎる。(60 代女)

(佐野駅について)

- ・佐野駅前広場の駐車場は台数が少なく、停められない。(60 代女)
- ・駅に下りエスカレーターがあれば便利だと思います。(70 代女)
- ・佐野駅には休憩所がないため、自由通路に椅子を設置してもらいたい。(50 代女)

(民間施設について)

- ・民間施設のバリアフリー化に対する市の補助金をつくってもらえないか。(60 代男)
- ・障がい者もラーメン店などに行きたいので、飲食店に障がい者用のトイレを作るよう市から勧められませんか。(50 代女)
- ・コンビニやスーパーはトイレなどの整備がよくなってきた。(70 代女)
- ・家庭でのバリアフリー化に無利子の融資が欲しい。(70 代男)

(バリアフリーの進め方について)

- ・高齢者、障がい者との意見交換が一番だと思います。そして、健常者にはその事を理解し、手助けができる心のバリアフリーが必要だと思います。(70 代男)
- ・自分が障がい者にならないと気付かない事わからない事は多々あると思います。そのためにも、障がい者とのイベントは良い。(60 代女)
- ・身長の高いお子さんや障がいをお持ちの方の低い目線で初めて気づくこともあるので、実際に体験し、検討を望む。(70 代女)
- ・本当の問題点は、アンケートではなく実際に歩いてみないと分からないのでは？(50 代女)
- ・実際にスロープがあったとしても急すぎたり、幅が狭かったり或使用できない事がある。障がい者自身の話をよく聞き整備する必要があると思います。(50 代女)
- ・このアンケート用紙をいただいて考えるきっかけになりとても良かったです。これから普段の生活で障がい者などの立場になり、意見を出したいと思います。(50 代女)
- ・障がい者と一般市民の交流の場を増やす。(70 代女)
- ・障がい者を対象とするイベントの回数を多くして欲しいです。(60 代男)

(教育・啓蒙活動について)

- ・若い人はエレベーターの利用は少なめに。学校でその教育をする。(60 代男)
- ・すべてを整備するのは人口減の中で財政的にも負担が大きいと思います。まず、家庭や学校で教育指導すれば、心のバリアフリーは根づくのではないかと思います。(60 代女)

- ・全ての構造を直すことは、予算的にも難しいと思いますが、助けてくれる人がいれば問題ありません。すぐに手を差し伸べられる教育ややり方の理解啓発、心のバリアフリーこそ大切な気がします。(50 代女)
- ・中高生の自転車マナーの教育が徹底していない。狭い道路での危険な走行にしばしば出会います。(50 代男)
- ・高校生・高齢者の自転車の交通指導等が必要と思う。(80 代女)
- ・バリアフリーにおける学校教育の在り方は特に重要だと思う。(50 代男)
- ・学校、自治会、地域でのバリアフリー啓蒙活動が必要。(60 代女)

(モラル改善について)

- ・車イスマークのある駐車場スペースに、健常者が車を止めている姿をよく見ます。栃木県民のモラルの低さには驚くばかりです。(80 代女)
- ・障がいを持つ人、高齢者、妊婦用の駐車スペースが少ない。このスペースを健康と思われる人が平気で使用している現状をどうにかできないか？(70 代男)
- ・歩道に車が止めてあって、車椅子が通れなかったことがある。駐車禁止取り締まり強化をお願いしたい。(60 代女)

(意識の改善について)

- ・市民の心がバリアフリーになれば中心部のみならず市内どこでもが住み易い街になると思います。(80 代男)
- ・施設や設備の改善も大事な事ですが、住民同士、知らない人同士でも、ちょっとした気遣いを多くの人を持つことがどんなに費用を掛けた設備より、必要な事だと思う。その意識を啓発する行政の努力も大きな後押しとなるはずだと思う。(60 代男)
- ・障がいのある人たちが普通に暮らせる街であつたらいいなと思います。整備も必用ですが私たち一人一人の思いやりが大切かと思っています。(60 代女)
- ・障がい者への声掛けがバリアフリー化への第一歩かなと思います。(60 代女)
- ・点字ブロックの上に自転車等を置かない様にする為の徹底を強化して欲しい。健常者の意識を深めるために市広報などで広めて欲しい。(60 代女)
- ・昔町内会を隣保班と言う言い方をした。人々が原点に戻り助け合う心が肝要。(80 代男)
- ・物理的なバリアフリーも大事だが、買物難民など地域で支えたり、助けられるシステムを作って欲しいと思う。(50 代女)

（中心部のまちづくりについて）

- ・市中心部に充実した商店街等がないと郊外に出ていくことになる。(60 代女)
- ・中心部には小さな文化的施設の充実させてほしい。(60 代男)
- ・高齢者が気軽に出かけられる公共の施設が欲しい。(50 代女)
- ・駅前が寂しくみんなが利用できるレジャー施設があればよい。(70 代女)
- ・大きな課題は市役所・佐野駅を中心とする公共施設・商業施設の集積化だと思う。本当に快適で住みやすい環境を目指す街づくりなら、バリアフリー化という考え方の枠を一步出たところのコンパクトシティ化にも注力すべきと考える。(50 代男)
- ・乗物に乗れない者にはもう少し街の中に大きなお店でもあればまた、バスに乗って簡単にお使いできればと思います。(70 代女)
- ・市役所や銀行に行くついでに足を延ばして駅や公園に行きます。ちょっとした散歩にも出掛けたい中心街を作っていただくようお願い致します。(60 代女)
- ・高齢者が買い物に便利になる様アーケードなどを整備してほしい。(60 代男)
- ・旧市部のバリアフリーが全くできてなく、商店もさびしい。老後は便利な郊外で生活したい。(60 代女)
- ・佐野市はラーメンやイモフライに頼ることなく、中心部を徹底的にバリアフリーにして、他自治体をリードする市となって欲しい(60 代男)
- ・高齢者は通院で外出する必要があるが、道路が整備されていないと外出するのが苦になります。車を使わないですむまちづくりを。(50 代女)

（バリアフリーの対象について）

- ・障がい者・健常者など関係なく利用しやすいものであってほしい。(60 代男)
- ・障がいのある、なしにかかわらず便利で使いやすい整備を早く進めてほしい。(60 代女)
- ・老人や障がいの有無に限らず生活しやすいのはバリアフリーだと思います、成長段階の子供達には少々不自由なくらいの方が良いとは考えますが。(50 代女)
- ・バリアフリーの対象者を『障がい者・高齢者・妊婦や子供連れの人』としてターゲットにすること自体に疑問を感じます。市民全体へのバリアフリーとして今後の展開を持って行って頂きたい。(50 代女)
- ・バリアフリーの大切さは若く元気な時は、その大切さ、重要性はなかなか理解できないものだと思います。高齢者や障がい者が身近にいれば違うと思います。(60 代女)
- ・自分が老いて始めて感じたことは五体満足の日が日増しに少なくなってとても心細くなって来るんです。バリアフリーとは弱者が精神的にも安心して暮らせることだと思います。(70 代女)
- ・子供たちが過ごしやすいような佐野市になってくれれば子供の人口も増え、活気が湧いてくるとおもいます(60 代女)

（その他）

- ・例えば公衆トイレを使用した後、次の誰かが使用する時に気持ちよく使用できる様に掃除等を行う事を『後工程』と言います。謙虚な気持ちで行動し、後工程が普通にできる社会が送れるようになれば、もっと楽しい社会生活が見えてくるのではないか。（70代男）
- ・道路拡張には、膨大な予算が必要でしょうから、その分を福祉の方に廻してもらえればと思います。例えば、タクシー券を医療だけでなく一寸したお使いに使えるなど、また、福祉施設の充実などに。（80代女）
- ・市と県の間の変アフリー化も必要ではないか。（50代女）